

号外



# 光楓会報

発行所 大阪府立箕面高等学校内光楓会  
大阪府箕面市牧落4-8-66  
TEL 072-721-7091  
<http://www.kofukai.gr.jp>  
デザイン・印刷 株式会社 サラト  
SALAT  
兵庫県姫路市北条宮の町172  
TEL 079-284-1380  
<http://www.salat.co.jp>

臨時号 平成27年2月1日発行



## 光楓会発会50周年 総会・記念パーティー

日時 平成27年(2015年)5月10日(日)

13:00~15:00(受付12:00~)

場所 ホテル阪急インターナショナル

会費 1万円(当日受付にて)

参加申込方法は同封別紙のご案内をご覧ください。



# 光楓会発会五十周年を迎えて

光楓会会長 金子晴美（四期生）



キユーをしたり、なども有りま  
した。

拠点としても、光楓会ルーム  
が校内の一室に設置され、文化  
祭時の開放や、会議・資料保管  
等で利用しています。

余寒の候、会員の皆様方にお  
かれましては益々ご健勝の事と  
お慶び申し上げます。  
去る平成二十四年に母校の  
五十周年を迎え、我々光楓会も  
二十七年に五十周年を迎える事  
となりました。

また、名簿や会報作成の業者  
である「サラト」さんとの連携  
で、経費の節減が大幅に出来る  
ようになり、その分、母校への周  
年事業や、日頃の支援がより多  
く出来るようになりました。

一期生が卒業して五十年、  
歴史の重みを強く感じます。昔  
話の中でいつも語られるグラン  
ドの石ひろいから始まった母校  
も、外観的、設備的には、ずいぶ  
ん変化も有りましたが、底に流  
れる自主自律・和親協力の気風  
は忘れられず脈々と引き継がれ  
ていると思います。

すべて会員皆様方のご理解・  
ご協力のもとに、進んでまいり  
ました。心より感謝申し上げます。  
今後さらに、六十年、七十年、  
百年と、母校の歴史が続き、我々  
自主自律・和親協力の精神が生  
かされ、継続され、延々と仲間  
が増え、さらなる発展を望みつ  
つ、皆様のご多幸とご健康をお  
祈りし、後輩の活躍を期待し、夢  
や希望を未来に広げ、時を重ね  
て行きたいと思えます。

光楓会としても、長年のうち  
には少しずつ変化して参りまし  
た。その昔には、乏しい予算の  
中でほとんど手作りの会報を  
作成したり、親睦会の企画で光  
楓会ウォークと称して、箕面の  
山を歩いたり、妙見山でバーベ  
キューをしたり、なども有りま  
した。

今回の号外発行にあたり、こ  
の五十年間光楓会の役員として  
運営にかかわって下さった方々  
に原稿を依頼しました。

ご協力誠にありがとうございます  
ました。

# 同窓会50周年 ご挨拶

大阪府立箕面高等学校校長 日野田直彦



同窓会の皆さまにおいては、ますま  
すのご活躍のこととお慶び申し上げ  
ます。また、平素より母校へ想いを寄  
せていただき、物心両面にわたりご支  
援をいただきまして誠にありがとう  
ございます。

昨年度の卒業生を含め、本校の創立  
以来の卒業生は約22,000名とな  
りました。

現在の本校の様子としましては、  
部活動の活躍として、ダンス部が日本  
3連覇を果たし、箕面高校の名前を全  
国に広げてくれました。また、ハンド  
ボール部や卓球部なども近畿大会に  
出場するなどめざましい活躍をして  
おります。

生徒会の活動としましては、青楓祭  
を中心に箕面高校の伝統を大切にし  
つつ、常に新しいことへのチャレンジ  
を生徒たちは行ってくれています。特  
に自主自律の精神を重んじ、自ら考え  
行動する。そして生徒たちが試行錯誤  
しながら自ら作り上げていく姿は、こ

の50年間続けられてきた伝統と文化  
の成果だと感じています。

そして、今年度より本校は、大阪府  
の新しい事業である「骨太の英語力養  
成事業」の対象校として新しい取り組  
みを始めることになりました。これは  
実用的な英語力を身につけ、TOEFL  
EITで英語圏の大学への進学が可能な  
レベルにまで伸ばさせる、というもの  
です。国際教養科が設置されている府  
内の学校で唯一、本校はこの事業に選  
ばれました。現在は、本校の先生方が  
民間の教育産業とも連携しながら、  
「日本初の英語四技能型の授業」のひ  
な形を作り出すだけでなく、「21世紀  
型学力」を育成する新しい授業の開発  
へと、日々邁進しております。また、海  
外大学との提携をさらに進めようと  
しています。

不確かな時代だからこそ、先輩方が  
作られてきた伝統と文化とともに、  
「自主自律」「和親協力」の校訓を背景  
に、「答えのない時代に対応できる骨  
太の人材」を育成していきます。

最後になりますが、私も教職員  
は、箕面高校の輝きが一層増すように  
全力で取り組んでいきますので、今後  
ともご支援とご協力の程、よろしくお  
願います。

平成26年4月に第14代校長として  
着任されました。

## 感謝状贈呈

これまで光楓会活動に長年貢献していただいた方々に感謝の意を表したいと思ひます。  
光楓会発会50周年記念パーティーの中で贈呈式を予定しています。

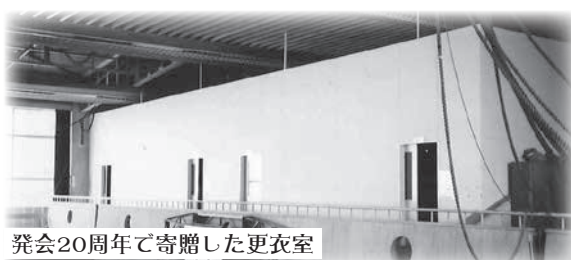
# 光楓会50年のあゆみ

## 沿革

- 1966(昭和41)年 7月31日 本会を光楓会と命名し発会式を挙行。同日第1回総会を開催。
- 1969(昭和44)年 8月5日 光楓会会報創刊号を発行。
- 1970(昭和45)年 11月25日 発会5周年を祝い会員名簿創刊号を発行。
- 1975(昭和50)年 5月11日 箕面観光ホテルにて発会10周年記念パーティを開催。
- 1980(昭和55)年 5月11日 第15回総会(発会15周年記念総会)および記念パーティをみのおサンプラザにて開催。
- 1985(昭和60)年 5月12日 第20回総会(発会20周年記念総会)および記念パーティをホテルアイボリーにて開催。
- 1985(昭和60)年 9月1日 仮称「光楓会記念館」設立募金活動を開始。
- 1990(平成2)年 5月13日 第25回総会(発会25周年記念総会)および記念パーティをホテルアイボリーにて開催。
- 1994(平成6)年 10月15日 第1回年度幹事会を開催。
- 1995(平成7)年 6月3日 第30回総会(発会30周年記念総会)および記念パーティをヒルトンホテルにて開催。
- 1998(平成10)年 11月14日 関東地区光楓会臨時総会を開催。
- 2002(平成14)年 9月21日 母校創立40周年事業として、校内に「光楓会室」が完成。
- 2005(平成17)年 5月14日 第40回総会(発会40周年記念総会)を箕面高校にて開催。



発会20周年パーティ



発会20周年で寄贈した更衣室



発会30周年パーティ



発会40周年総会

## 周年行事などでの母校支援

- 1967(昭和42)年 母校創立5周年 サワグルミ32本を植樹。
- 1972(昭和47)年 母校創立10周年 学校・PTAと協力して記念苑を作成。
- 1983(昭和58)年 母校創立20周年 学校・PTAと協力して東館記念苑を作成。
- 1985(昭和60)年 光楓会発会20周年 コンピューター2組・更衣室増築を寄贈。
- 1992(平成4)年 母校創立30周年 石彫・ティンパニなどの費用として200万円寄附。
- 2002(平成14)年 母校創立40周年 視聴覚室への空調設備設置費用として200万円寄附。
- 2012(平成24)年 母校創立50周年 食堂の改修費用などとして500万円寄附。

- 毎年 ・卒業時に皆勤賞として記念品授与
- ・卒業生に光楓会オリジナルクリアファイルを進呈(以前は卒業証書の筒)

## 現在の光楓会役員

役職	期組	氏名
会長	4期2組	金子 晴美
	4期1組	山口まゆみ
副会長	10期6組	加藤 孝之
	20期4組	山口 雅代
会計	6期9組	黒田 朋子
会計監査	13期2組	小松 弘明
	17期4組	古川 智子
書記	28期6組	松田 剛志
	33期4組	廣田 学
特別理事	1期5組	松本 勝彦
	1期8組	杉迫 義昭
	9期8組	松尾 光明
理事	6期7組	岡本 真弘
	10期8組	森 勇人
	14期3組	河田 慈
顧問	3期7組	中西 良治
	13期2組	小松 弘明
	14期7組	水谷千代美
	17期4組	古川 智子
	28期6組	松田 剛志
35期2組	池谷 陽平	

# によるメッセージ

員としてのできごとや現役時代の思い出を寄せました。

## 光楓会と私

旧職員 杉本 憲治



新設、箕面高校3年目に  
大手前高校(定)より転動  
してきました。1期生が3  
年生になり卒業していくと  
ころで同窓会の組織が必要になり、そのリ  
ダー役に吉田源三郎先生が任務することにな  
り、たまたまこの先生が私の高校時代(校塚  
高校)の恩師であつたところから頼みやすかつ  
たのか、ぜひ手伝ってほしいとかがつきた  
たのが事の始まりでした。卒業生代表に誰か  
を探さねばならないところ、ちょうどバスケ  
ットのキャプテンをしていた松本君に声をかけ  
たらこころよく引き受けてくれて初代会長が  
決まりました。そして各クラスより同窓会係  
りを選出、組織ができあがつていったのでし  
た。名前も光楓会と名付けられ毎年母校を想  
うことから5月の母の日を光楓会の日とし現  
在にいたつてゐるのです。

これも吉田先生の強いリーダーシップと優  
秀な卒業生のみなさんのおかげと思つてい  
ます。特に2代目会長の杉迫氏は大人物で心の広い  
会長さんでした。3代目会長の松尾氏も大変  
説法の上手なユニークな坊さんでした。少路  
高校が新設で開校すると同時に転動をしてい  
きました。以後も5月の光楓会総会にはでき  
るだけ出席するようにしております。50周年  
を前にして特に初期のころのことをほんの少  
し書かせて戴きました。今後ますますの充  
実を期待しております。

## 光楓会五十周年に寄せて

旧職員 菅沼 良三郎

光楓会発会五十周年おめでとうございませう。  
五十年前に大阪の高校受験生が急激に増え  
従来の学校数ではどうにもならない状態に陥  
り、数校の増設の必要に迫られ(確か八校程  
ではなかったか、と記憶しているのですが…)。  
中でも一番期待出来る環境に設立される箕  
面高校が最初から大きく期待されて発足した  
のは確かでした。その後もどんどんと受験生  
が増えいくつもの新設校が開かれ、又程なく  
多くの学校が消えて行く中で箕面高校が順調  
な発展を続けることが出来たのは一つに在  
校生並びに卒業生諸君の立派さに懸つてい  
るとに他ならなかったことでしょう。

開校初期の劣悪な学習環境(：(悠々と実績  
を残している多くの既設校に比べ)…)の中で  
絶えざる努力と前に向つて進む創意工夫の精  
神の結果ではなかったでしょうか、それが只  
学習のみでなく多岐に亘る生徒会活動に於て  
も常に前を見つめる真剣さと不屈の向上心を  
生徒諸君の日常の行動の中に感じ、この学校  
に勤める有難さを身にしみて感ずる毎日であ  
つた。今考えるに口それあつての現在ではなかつ  
たでしょうか。

## 学校の片隅で

旧職員 加集 允子

創立二年目から理科の実習助手として四十  
年勤めさせていただきました。高校での実験  
体験と言へば、木炭乾溜の実験と塩素の性質  
の確認しかなかったので、不慣れな実験装置  
を組んだり、薬品を調整するといったことは  
失敗の連続で先生方が生徒さんに迷惑をかけ  
ることもありました。何とか続けることが  
できました。学校行事に参加することで色々  
な勉強や体験ができたのはラッキーなこと  
でした。通信教育で八年かかりましたが、司書  
資格や教員免許を取る時に参考書や専門書を  
貸して下さつたり、図書館で調べ物ができた  
のは恵まれていたと思つています。定期考  
査の放課後にテニスや卓球やバレーボール・パ  
ドミントンと職員でチームを作つて楽しんだ  
思い出は今も私の財産です。

考査や教材の印刷は小学校で学級新聞を  
作つていた頃とほとんど変わらず手作り感があ  
りました。勤めていた間には印刷環境は大  
きく変化しました。最初の頃はガリ版の上に  
口ウ原紙を置いて鉄筆で切つて原稿を作るの  
ですが、修正がききにくく、一学級五十枚を  
十ークラス分印刷しようとする口ウ原紙が  
よれて字が流れることがあり、特に夏期には  
手回し輪転機をゆくりそつと回して(効果  
の程は不明ですが)刷つていました。口ウ原  
紙は手間がかかりますが、個性がやすいので、  
吉田源三郎先生の教材のように芸術品級  
の味わいがあるものもありました。その後印  
刷機は電動となり、横長のドラムに原稿と原  
紙をとりつけ光を当てて文字のある所を針で  
削つて印刷原紙を作るファックスが登場し、  
ガリ切りの苦勞から解放されましたが、この

機械は粉塵が飛ぶので印刷室の換気が必要と  
なりました。コピー機が職員室に設置され  
り、ワープロやパソコンの普及で配布物が飛  
躍的に増えることになりました。印刷機は少  
しずつ改良されましたが、紙が湿気を帯びる  
とシワがよつたり、押えのローラーの加減で  
ひつかつたりするので考査の印刷には特に  
気を遣いました。最近では原稿と紙をセット  
してボタンを押せば印刷が完了する印刷機が  
導入されて、手を汚したり服を汚したりせず  
に誰でも手軽に印刷ができるようになりました。  
配布物が増えたと「プリントをなくしま  
したのでもう一枚下さい」と言つてくる生徒  
さんが増えて、必要枚数プラス余分十部で良  
かつたところが余分を二十部にしても対応で  
きない事態になっていました。

## 学校の片隅で

旧職員 加集 允子

退職して十年になりますが、家庭で簡単に  
コピーができた、携帯電話が広まつている  
ので今では事情が変わつてきていると思つて  
先生手書の教材は個性があり温かみがあつて  
良かったように思つております。



1期 松本 勝彦  
50年も前の高校時代のこ  
とで、私がとくによく覚え  
てゐるのは、3年生での体  
育祭の仮装行列です。

私たちのクラスは高校生活最後の思い出を  
つくりたいということで、「黒人暴動」というテ  
ーマでこの仮装行列に取り組みました。仮装行  
列と言つても、黒人暴動ですから、みんなが  
顔や手足を黒く塗つて黒人に扮つてトラック  
を一周し、まわり終つたところで、来賓席  
の正面で大声を出しながら暴動を起こすとい  
うものでした。私も黒人女性に扮し、スカ  
ートをはいて、風呂敷のスカーフを頭に巻き、  
顔や手足は墨汁を塗つて参加しました。  
内容的には単純で、幼稚だと思われていた  
かもしれませんが、シバツイター博士役の  
ものが、「人間みな兄弟」という垂れ幕をおろ  
す場面もつくるなどとして、私たちにとつては  
いつまでも記憶に残る最高の仮装行列にする  
ことができました。

記憶に残る最高の仮装行列になつたけれど、  
卒業し何十年もたつと、「黒人暴動」をしたこ  
とは記憶にはあるのだけれど、自分達がなぜ  
あの時「黒人暴動」をやつたのか、なぜ「黒  
人暴動」をテーマにして取り組んだのかわか  
らなくなつていました。  
この思い出せなくなつたことを、教師  
になつていた私に英語の教材が思い出させて  
くれました。ある時から、教科書の教材にア  
フリカ系アメリカ人公民権運動の指導者とし  
て活動したキング牧師のことがとりあげられ  
るようになりまして。キング牧師のあの「I  
have a Dream」という名演説がなされたのが  
1963年で、この頃アメリカでは黒人たちが  
を中心として、差別撤廃の運動が大きくも  
あがつたことがその教材にも紹介されて  
いました。  
1963年といえば私たちが箕面高校に入  
学した年です。それで、私たちがなぜ「黒人  
暴動」に取り組んだのか理解できたのです。  
私たちが取り組みの内容としては幼稚であつ  
ても、時代を反映した取り組みをしていたと  
いうことです。  
その後、まだまだ根深いところでアメリカ  
でも人種差別は残つていますが、この時代を  
経てこつた差別の問題もずいぶんよい方向  
に変化が見られるようになってい  
ます。  
箕面高校の歴史は、新幹線、日本のオリ  
ンピックだけでなく、人種差別撤廃運動の歴史  
の出発点とも、軌を一にしていたとい  
うことは、感慨深いものがあります。

## 1期 杉迫 義昭

和親協力、自主自立。母校創立五十周年、  
光楓会発会五十周年を迎えることができて嬉  
しいです。初めの頃は会員数が少なく寂しい  
思いをしました。今は堂々として心強いかが  
りです。在学中は回りが畑田んぼに囲まれて  
箕面市役所が見えてたのが商業ビル、マンシ  
ョンに囲まれて周囲の発展には今昔の感あり  
ます。祝賀会で懐かしい皆様とお会いでき  
るのを楽しみにしています。

## 1期 前中(辰巳砂) 啓子

光楓会の五十才のお誕生日、おめでとうござ  
いませう。会発足当時の役員としての私の仕  
事は、判子を押すだけの会計監査で、何か苦  
勞話を、との御依頼の任にはあらずなので  
が五十年という年月の早さに改めておどろい  
たのと、あまりに懐しい気持ちで募つたのと  
で拙い文を書いています。

# 歴代の光楓会役員

光楓会創立50周年を迎えて、歴代の光楓会役員から役員

おそらく一期生の誰もが、え？卒業して五十年もたつたの？ほんまに！と感じていらっしゃると思います。若い卒業生の皆様には理解の外でしょうけれど、いわゆるベビーブーマーの私達が入学したのは、まだ眞面にれんげの花畑が広がりがおたまじゃくしの小川が流れていた頃で、在学中に東京オリピックが開催された時代です。校庭の石拾いは今でも語り草になっていますが、食堂もプールも体育館も正式な校歌も、上級生もいなかった、まさにひとつの校舎と先生達と一期生だけ、なにもなかったけど実はたくさんたくさんあったのです、あの時代。

勉強もろくにせず校則違反でよくしかられていた私だけれど、卒業して五十年たつても眞面高校は心のふるさと、大好きな学校。出身校に誇りがもてるって本当にうれしいことです。

いちはやく生徒の自主性を信頼して制服を撤廃したり、三十年目には国際教養科ができて府の全域から多くの生徒が集まったり、国内外の様々な大学と連携したり、と目をみはるような成長をつづけていく眞面高校。この次の記念の誕生日にはどんな姿をみせてくれるのかな、楽しみに生きていることにしましょう(笑)。

ではもう一度、五十才おめでとう！個性豊かな卒業生たちに乾杯です！！

## 母校創立50周年によせての思い出

2期 後藤 正裕

「団塊の世代」に属する私が、入学した当時の本校は、北摂の名門校池田、豊中高高校に挟まれた新設校でした。当然の事ながら両校と比較して歴史も伝統もなく、全てが白紙の状態でした。只只、多くの学生が、ひしめきあっていた事、それも1クラス50人以上で10数クラスもあつたでしょうか。昨今の少子化による学校の統廃合なんて誰もが、想像も付きませんでした。入学当時の思い出と云っても半世紀前の事なので正直言って中々思い出せません。団塊世代の我々が、直ぐに思い出せる事は、体育の時間の運動場(池の埋め立て地)の大きな岩石の掘り起こしと耐寒訓練で学校周辺の野山や眞面公園を走った事です。そんな中で僕が、今でも母校に感謝している事と云えば、小学・中学と殆んど勉強とは縁遠く毎日自然豊かな北摂の地で野山や小川

を生活の場所として遊び回っていた少年が、本校に入学し将に「15にして学を志し」の通り、毎日日本中に授業中も帰宅後もよく勉強したという事です。入学当時或る先生に「学校は、人間関係を構築する場所ですよ」と真顔で質問しました。先生曰く「学校は、基本的に勉強する場所であり学校は、その機会を学生に与えているのですよ。社交クラブが学ぶ事を通じて自然に人格形成や人間関係が出来上がって行くのですよ」と仰いました。(多分「大阪弁」で話されたと思いますが)当時の本校は、学生が、積極的にならざる素晴らしい環境が整備されていたと思います。校長先生を始め多くの教員の方々の新設校への思い入れ、情熱、確固たる信念・意思そしてその努力が、そうさせたのであろうと思います。

僕も創立当時の光楓会役員を担当させて頂きました。当時は、何も分らない中、ベテラン先生のご指導の下、務めさせて頂いた事は、言うまでもありません。

大学入学後も、学園紛争で学校が、封鎖される中、又も勉強をせざるクラブ活動に情熱を傾けそのまま卒業しました。偶々入社した会社が、社員教育に熱心な企業であり母校で刷り込まれた「志学の精神」が、大変役立ちました。

そんな僕も昨年41年間勤めたサラリーマン生活に終止符を打ち、再度「学ぶ喜び」「学ぶ楽しさ」を求め新しい事にチャレンジしております。たつた3年間と云う短い高校生活ではありましたが、いじめもなくのびのびと勉強させて頂いた。そんな環境を与えて頂いた母校に心から感謝致しております。

高校生活は、3年間と云う限定された短い期間ではありますが、血気盛んな青少年・少女にとって学校の持つ存在意義・社会的使命は、その後の青少年・少女の進路を決めるに当たって極めて大きな存在であると痛感しております。

母校も創立50周年を迎え、今や立派な伝統と歴史が、構築されました。綿々と続く歴代の校長、教師の皆様を始め光楓会役員の方々



そして学ぶ学生諸君が、未来を見つめた素晴らしい学校を創って行かれる事を願って止みません。

## 光楓会発会50周年に思う

2期 加集 資朗

眞面高校を卒業してほぼ50年経過しました。今は退職し、楽しいような、寂しいような日を過ごしています。

高校時代を振り返ると、1・2年生の時は男女共学でした。3年生になると共学クラス×6クラス  
女子クラス×2  
男子クラス×3

となり、私の11組は男子クラスで、教室は図書室横の隔離教室でした。そのせいか3年生の時は担任の、「来年は受験だ」のかけ声だけが記憶に残っています。

おかげさまでヒトナミ(一浪も経験しました。思い出すのはクラブ活動です。バスケット部に在籍し、誰よりも頑張りました。当初豊中高校OBのお二人(斉藤先生のご紹介)にご指導頂きました。今でも感謝してご紹介。2年生になるとバスケットの強豪校から恐い(と評判の)杉本先生が赴任されました。広い運動場で眞面の山に向かつてシュート。

(入るわけ無いと思いましたが) 風もないのにボールが校庭の端まで転がりボール拾いは大変でした。眞面の滝や服部緑地へランニングしたこともあり。小学校の体育館を借りた夏休み合宿はおもしろかった。楽しいクラブ活動ではありましたが、結果は伴いませんでした。ご指導頂いたかたには申し訳なく思っております。

## 4期 山口(茶谷) まゆみ

一九六九年三月、私達四期生の卒業式が終わり、教室に戻ると黒板に「チャンスの神様毛が二本」と書いてありました。

担任の故西田昭夫先生が書いて下さったものでした。これから卒業していく私達に早く正しい判断をして、人生を前向きに生きて欲しいという先生のお気持ちだっただけです。母校の先生方の優しさを感じたいと思います。縁あって光楓会の役員をお引き受けして、毎年文化祭には、光楓会ルームを開放させて頂いております。その折に、在校生の皆様

るく開放的なところや、きちんといつも挨拶をしてくれる礼儀正しいところは、いつも心致します。来年金楓会創立五十周年を迎えるにあたり、このような素晴らしい校風が又次の一〇〇周年へと続いて行ってくれる事を心より願っております。

## 光楓会と眞面高校

5期 津留 和夫



このたびは光楓会発会50周年おめでとうございませう。

私は、23才で教員生活をスタートし、平成24年3月定年退職となり、現在再任用教員として週に3日府立高校に勤務しています。定年退職まで府立高校5校に勤務しましたが、その中でも母校の眞面高校が最も長く、14年間の在職中は、時代が良かったというのびのびと何にでも取り組め、教員生活として珠玉の思い出となっています。

私は、眞面高校出身の教員として最初に母校に戻りましたので、当初から当時光楓会担当の生物の吉田源三郎先生と体育の杉本憲治先生から次第に光楓会の仕事を引き継ぐこととなりました。当時の光楓会会長杉本さん(1期生)を中心に役員の方々と一緒に名簿管理・会報発行などをし、確固たる同窓会が出来たと思えます。その後を継がれた松尾会長(9期生)がさらに光楓会を発展させ歴史のある学校に引けをとらない同窓会となりました。

眞面高校在職時は、当たり前のようになっていますが、他校で勤務するが大変歴史のある学校は別として、同窓会活動が必ずしもどここの学校でも安定した存在ではないことがわかりました。そうしたことを考えると、長い目で眞面高校の将来を見据え、しっかりとした同窓会を立ち上げていただいた吉田源三郎先生と杉本憲治先生・長期にわたって会長を務められた杉本憲治先生と松尾会長のご尽力のおかげと感謝の思いでいっぱいです。

ところで、教員として最近つくづく思うのですが、人類が他の生物と違つところは、文明を築き、その文明(文化、技術など)を引き継ぎ発展させてきたことがあると思います。他の生物はただ生まれ死んでいき命をつないでいくだけですが、人類は学校・家庭・社会が子どもたちに教育していくことによって

子供たちがゼロからスタートするのではなく、今まで人類が築き上げた知恵を基にさらに発展させていくことが出来ます。そうして命をつなぎ次世代にバトンタッチするわけですが、最近、個人を重視しすぎその時だけばかり考え、目の前の結果だけしか見ないことが政治・経済・教育の世界にはびこり憂うべき世の中になりました。遠い未来のことを軽視すればあらゆる社会は基盤がなくなつて何一つ存在理由がなくなりません。一人の人間は、人類という大きな生物のそれぞれの国といふ臓器の一細胞であり、生命の誕生以来、命をつなぐリレー走者として今があると思えます。そのため、高校時代出来るだけ幅広く学び、長期的な物事を見る力をつけることが大切だと思えます。すぐに役立たないと最近軽視されがちな教養ですが、今こそ長期的な物事を見る目を養う普通の教育が最も本質ではないかと教員同士でよく話します。

私たち光楓会員は、最も多感な青春の3年間に箕面高校で過ごした共通の思い出を持っています。箕面高校の後輩たちが明るい未来に向かって目を輝かせて日々過ごせることを願い、私たち光楓会員も母校の真の意味でのさらなる発展に寄与し、大きな人類という生物の一員としてそれぞれの立場で未来に向けて役割を果たせたいと思えます。

### 5期 鈴木(木ノ本) 雅子

光楓会五十周年おめでとうございます。  
当時、光楓会の顧問をされていた吉田源三郎先生に、役員が足りないからと依頼があり、会計監査の役を一八〇年から一年間引き受けました。当日の朝、生物講義室で会議をし午後総会。当初長男が四才次男八か月と、手のかかる時、主人の協力もあつて続けられました。  
当時は、五月第二日曜日「母の日」に絵会があり、息子の母の日の授業参観に出席できず、主人に行つてもらつたりと、「母の日」に母親不在が辛かつたです。  
光楓会も半世紀を迎え、役員を任期制(二年等)にしたり、公募したりして、卒業生の方々にどんな役員になって頂き、光楓会を盛り上げてほしいと思えます。

### 6期 植田 充重

光楓会50周年おめでとうございます。  
卒業時のクラス幹事ということで、当時、光楓会のお手伝いをするになりました。数年間で

したが、楽しく参加させていただきました。今も、総会にはできるだけ参加するようにしています。これからも、益々の光楓会の発展をお祈り申し上げます。

### 6期 黒田(安東) 朋子

光楓会50周年おめでとうございます。  
いつから光楓会に開かるようになったのか、ふと思ひ返してみると同期で集つた光楓会役員N君の一言「チヨット手伝つてくれへん？」だった。気軽に「イイよ」とお手伝いするようにになったのが始まりのような気がします。

私が手伝い始めたころは、文化祭の時も、普通教室をお借りしていました。今は、光楓会ルームがありますが、この光楓会ルームも歴代の役員の方々の長年の想いが形になったものです。会報発行にしても、サラトさんをお願いするまでは時間、労力そしてお金の面でも大変だったのが私の思い出としてのこっています。

50周年を機に、若い世代の方々に光楓会役員として活躍していただきたいと思っております。

### 7期 紅山(青木) 美知子

光楓会設立50周年おめでとうございます。  
記念誌への寄稿を依頼されて自分が光楓会の役員を40年近く前にしていたことを思い出しました。結婚して関東に出てくる前のほんのひと時だったように思います。

当時、諸先輩方のお役に立てればと務めさせていただきました。今にして思えばたいしてお役に立てなかったのではないかと思います。

この機会にいろいろ当時のことを思い出して頂きました。私の高校在学当時は、ちょうど大学の学生運動真つ盛り時代の時でした。近くの大学の影響が、校内にも自由闊達に自分の意見を言つたり、難しい討論をしたりする機会がありました。生徒たちの自主性を重んじて、温かい目で私たちを見守つてくださった先生方が、今も思い出されます。生徒総会を開いて、意見を交わし制服がなくなり標準服となったことが、当時のとても印象深い出来事です。

私はといえますと、バドミントン部に所属し3年生の時はキャプテンとして日夜練習に励んでいました。結婚をして関東に引越して、主人の海外転勤に伴い中南米、ヨーロッパと4カ国に駐在しました。学生時代にバドミントンをしていた

おかげで、滞在中のパナマでは諸外国からの駐在員とプレーを楽しみ、スイスでは地元地域のチームに入れてもらいリーグ戦やシニアの全国大会にも参加することができました。ほんの少し国際交流に役立ったように思います。

以来大阪には住んでいませんのでその後の箕面高校の様子もよくわかりませんが、きつといつまでも自由闊達の校風が続いていると思えます。

制服がないのが象徴となるのでしょうか、自由でおおらかで個々を大事にする精神を大事に、箕面高校、光楓会の今後のさらなる発展を祈念しております。

### 9期 寺岡 明

前会長で同級生の松尾君からお誘いを受け、副会長として光楓会でお世話になりました。役員として殆どお役にたえず残念ながらお話する程のエンジニアではないのですが、当時の松尾会長や今回原稿のご依頼をくださいました金子さんや他の役員の方々と楽しい打合せのことを思い出します。それにしても、わが9期生は、来年、驚くことに還暦を迎える年齢になりました。

40年も前のことになりましたが印象に残っていることは、9期生が2年生になる時、制服から標準服制度に変わり、皆が自由な服装で学校に通うようになった。これは、箕面高校の自由でのびのびとした校風によるものではないかと思っております。

又、個人的には、瓦林君のギターと、私は栗林君(彼は、その当時のTVのヤングオーオーという番組に、もみじの天ぷらという名前前で出演されたことも思い出しました)から借りたベアスギターで、2年9組全員の前で初めてロックのバンド演奏をしたことは非常に印象に残っています。今でもおやじバンドを続けていて、先日も同級生がかけてくれ、今でも親しくお付き合いいただいています。箕面高校では、沢山の友達ができたことは本当に素晴らしい、一番大切な一生の宝物を得たことに心から感謝しています。

最近、コニタンこと小西博之様の講演を聴く機会がありました。非常に感動的なお話でしたが、その中で『全てを受け入れる。人を笑顔にする。』ということをお話いただきました。人の役に立つということになると、少し肩の荷が重くなりませんが、笑顔にするなら毎日できます。まわりが笑顔になると毎日楽しい。そう思うとこれからの人生、わくわくしてきます。箕面高校の生徒・卒業生であれば、既にやっていると思えますが、皆

でこのことを続けていければということをお願いして筆をおきたいと思えます。

### 箕面高校での10年間と光楓会担当として

#### 10期 加藤 孝之

光楓会発会50周年おめでとうございます。箕面高校には生徒として3年間在籍し、教員として10年間在職しました。教員になってから1度は母校である箕面高校で勤務してみたいと願つていましたので、望みが叶い、箕面高校に転勤が決まった時は、驚きもありましたが、念願が叶つたという嬉し気持で一杯でした。あつという間の10年間でしたが、心優しく素晴らしい生徒達や、生徒思いの素晴らしい先生達と過ごした10年間は大変貴重な時間でした。沢山の良い思い出があります。10年間に、35期生と42期生のクラス担任もさせてもらいました。いずれも良い生徒ばかりでした。今でもいろいろな所で会うことがあり懐かしさ当時から思われます。また、部活動では前任校に引続きやりたい生徒の為にボクシング部を興し、全国制覇を夢見て指導しました。

校内の同窓会の担当(顧問)としては、主に「会計」を8年間担当させてもらいました。大変忙しかつたのですが、大好きな箕面高校での勤務だったので、全く苦にはなりません。

担当として一番大きな思い出は、やはり創立40周年記念行事を行ったことだと思います。光楓会の長年の悲願であった同窓会館を母校に建立することはできませんでしたが、40周年の記念として、「光楓会ルーム」を東館1階に設置できたことは大きな喜びでした。光楓会としての長年の夢でもありましたので、ホッとしました。その他、毎年の「海外語学研修」への支援、トレーニングルームへの支援、全国大会や近畿大会への出場支援、卒業時の皆勤賞の贈呈など様々なことを行いました。

在職中はほぼずっと生活指導部にいた関係もあり、毎年5月に母校の食堂で行われる同窓会総会の準備と、その前日から当日にかけて行われていた1泊2日のリーダー講習会に毎年参加していましたので、時期が重なり前日はほとんど寝ず、一足早く帰校し当日の総会の準備をしていたことが良き思い出として残っています。本心に忙しかつたのですが、とても充実していました。

多くの先生方、とりわけ創成期の光楓会顧問の先生方や歴代の光楓会役員の皆様方の献身的なご尽力で現在の光楓会があります。私自身は、現在は母校を離れてはいますが、今後も光楓会の活動ができる範囲で盛り上げて行きたいと考えていま

す。卒業生や旧職員の皆様方、今後も箕面高校共々光楓会をよろしく願います。

### 光楓会の思い出

10期 山本 修三

私が光楓会役員に仲間入りさせていただいたのは25期生が入学した昭和62年、体育科教員として母校に赴任してからです。増学級の始まりで1学年14クラス、3年後には2,000人を超える超過密校になっていきます。さて当時は5期生の津留和夫先生(地学科)が光楓会顧問をされており、そのお手伝いから関わっていった次第です。校内では名簿管理と会計事務が主な役目で、総会準備や周年行事、会報作成等の活動を役員の方々と楽しくやっています。津留先生は献身的に光楓会活動を支え、十字棟校舎にあった地学準備室には多くの資料を、そして地学教室の片隅や廊下には会報や総会用品が溢れていました。その津留先生が転勤され、後を引き継いだものの頭の痛い問題があったのです。ずっと保管されていた膨大な資料や物品をどうしようか、このままでいいか、着任される先生には迷惑な話です。同窓会館を建てるとかせめて同窓会室はどうかと話題にはあがりませんが目途はなく、途方に暮れていました。地学科にはもうおひとり先生がおられ、その方は私と同じ年で気が合い親しくしていました。資料を動かすよりも津留先生同様に光楓会顧問を引き受けてもらえれば解決するなど策略、結果快諾いただくに至りました。その方は藤一郎先生で、当時の光楓会裏話でヒーローであったことを紹介しておきます。

役員会は前会長の任職をされている9期生松尾光明さんの常福寺で行われました。18時30分集合、決まって1時間ほど遅れて会議が始まります。役員のみならず五月雨的に集まり、お茶とお菓子をいただきながら同窓生や同期会の話題や近況報告等たわいもない話に花が咲き、盛り上がりつつあります。やがて訪れる減学級による空き教室を期待し、同窓会室には「水道とガス栓はあった方がいいな、畳も落ち着けるかな…」等々室内のレイアウトを話し合っていたのが懐かしく思い出されます。

13期 小松 弘明

光楓会50周年おめでとうです。箕面高校に赴任して7年目を迎えています。卒業後、毎年5月に行われている総会に出席したこ

ともなく、久しぶりに戻った箕面高校はとても懐かし、以前のままでのような雰囲気を感じましたが、昨今は箕面高校をとりまく環境も大きく変わってきています。生徒が主体的に考え、行動する自律の精神に見られるような箕面高校の良き伝統を保ちながら、一方で新しい側面も発展させていかなければいけない難しい時期に来ていると思います。箕面高校と光楓会のますますの発展を願っております。

14期 河田(妻鳥) 慈

一期生が卒業して半世紀の区切りとなる光楓会発会五十周年おめでとうでございます。十四期生だった私は教員としても赴任し、箕面高校の生徒達と関わりその活躍を見つめることが出来ました。又これを機に、光楓会役員としても参加し活動させて頂きました。

転任したばかりの頃は、半世紀を迎える今の光楓会の確たる同窓会と違ってきた若し組織で役員の方々が「卒業生が集いまとまる、拠り所となる場」にするためにはどうすればいいのか、考え悩みながら組織を重ねていたように思います。同窓会委員の組織化や、イベント・周年行事や例年の総会以外にも、光楓会ハイキングや学校周辺マップ作りなど様々なアイデアを出し合っていました。

役員の方々が中堅の働き手・というところ忙しい中、日を見つめ、仕事を何とか切り上げて夜のお寺に集まっています。お寺に夜伺ったことは無く、初めはちよつと(?) 怖い感じでしたが、いつも会場を提供してくださる、前松尾会長には感謝・感謝でした。私もその頃は、子ども達が就学前で、保育所から迎えて実家へ連れてゆき、眠りかけた子どもを抱きかかえて帰っていた思い出があります。

役員の内輪話のようになつてしまいましたが、皆さん明るく前向きでいつも笑いが起こり、母校箕面高校のことを考えて活動するというのが魅力で、知らぬ間に二十年近くも関わらせて頂きました。五十周年を過ぎ、ますます確かな会として発展し、卒業生の組織としての意義も大きくなることと思います。新たな出発点ともいえるのでしようか。光楓会の今後に大いに期待しています。おめでとうござります。

19期 田尻 誠

今から30数年前に在学していたころ、20年ほど

前に勤務していたころが、ついでこのあいだのように思え、「見はるかす北摂の山、雲白く、学び舎は青磁に映える」校歌の歌詞の風景が今でもすぐ目につくことができます。箕面高校光楓会50周年おめでとうございます。そして、同窓生の皆さまこんにちは、19期生、旧職員の田尻です。私は、箕面高校で学び、その後縁あって7年間保健体育科教員として勤務し、計10年間お世話になりました。昔から箕面高校は自由な校風で、「自主自律」と親協力の校訓のもと、生徒たちがとても伸び伸びとしていた学校でありました。私自身も3年間バスケットボール部に所属し、毎日部活動中心の学校生活を送っていたように記憶しています。また、教員として勤務したときは、立場が変わると生徒を指導するうえでその自由な校風に戸惑いもあり、当時は理不尽なことを要求していたこともあり、未熟な部分も多々あったように思います。

現在、私は学校現場を離れ、教育委員会事務局に勤務し、その業務のひとつで「子どもの体力づくり」に関わっております。子どもの体力については、特に運動やスポーツをする、しない子ども二極化の傾向が課題とされ、日ごろ運動やスポーツに親しめていない子どもたちが、いかに興味や関心を持って楽しく身体を動かすかが大切であると考えています。箕面高校では、昔から部活動が盛んに行われ、現在もその多くが熱心に活動しななでもダンス部が大変活躍されていると伺っております。人が生きる力の源は、やはり体力や健康であり、特に青少年期は、他者への思いやりや協調性、努力することの大切さなど、運動やスポーツが果たす役割が大きいことは言うまでもありません。これからは箕面高校が生徒たちにとって、部活動を始め有意義な学校生活を送れる場であり続けることを願うとともに、今後、母校の益々の発展を祈っています。

### 光楓会役員として

20期 山口 雅代

卒業以来、母校に立ち寄る事はほとんどなかったのですが、当時体育科にいらつしやつた田尻先輩からのお誘いで参加する様になりました。光楓会という名前も活動も実は全然知らなかったのですが、大先輩方が熱心に活動されているお手伝い度からの参加でした。十年以上行つていなかった食堂や文化祭にも自分も楽しみつつ参加。今年に至るまでに、タイトルだつた壁がなくなつたり、耐震工事があつたり、クーラーが付いたり…細かい

変化があつても、周囲のお友達のご息が箕面高校生で、お話を聞くと相変らず楽しく学生生活を送っている様子で嬉しく思っています。自分の同期にもイベント毎にアナウンスは心がけていますが、学校が土曜日お休み、という時代になってからは自分自身がなかなか参加できなくて残念です。来年の五十周年、是非同期会気分です皆さんいらつしやうござります。

33期 廣田 学

1998年に箕面高校を卒業した後、所属していたワングル部の同期のメンバーが、2000年に山岳部・ワングル部の1期から現役生までの大同窓会をしようと企画しました。ところが、企画したメンバー全員が進学で大阪を離れてしまい、その後、一浪して大学に入った私が同期に代わって開催準備をすることになりました。その際、一緒に開催を手がけてくださった大先輩の西村清さん(6期)が光楓会役員をしておられて、西村さんに誘われて役員会に行つたのが20歳の時でした。役員会には、1、2年時の担任の山本修三先生(10期)、3年時の担任の河田慈先生(14期)がおられ、断りづらいままに役員を始めたことをきっかけに今に至ります。

光楓会役員となつてからは、西村さんと一緒に「光楓会ウォーク」と題して、懐かしの箕面の滝に行くハイキングや能勢の妙見山でのパーベキューなどを企画しました。2000年から2004年の間に4回開催し、2期や6期の方などを中心に卒業生の皆さんにご参加いただきました。残念ながら、それ以降は開催に至っておりません。

私が光楓会役員となつてから15年が経過しましたが、役員が私より下の期になかなか広がついていない現状です。私が参加したころに「光楓会ウォーク」を開催したように、光楓会役員として箕面高校や光楓会を盛り上げる企画を実現することも可能です。光楓会の活性化とさらなる発展のために、一緒に協力してくださる卒業生の皆さん、特に若い世代の皆さんのご参加をお待ちしております。





# 【協力金のお願い】

光楓会報の発行は、光楓会員の皆様方からの協力金によって成り立っています。

**2,000円より**

同封の振込用紙にてお振り込み下さい。  
また、振込用紙を使わない場合の振込先は下記となります。  
口座番号 00150-0-335215  
加入者名 箕面高等学校光楓会報係

協力金が予定額に満たない場合は光楓会会計からの持ち出しとなります。  
(予定額を超えた場合は、光楓会活動へ還元されます。)  
これからも引き続き光楓会報が発行できるよう、ご協力をお願いいたします。



## ！ 各種お願い

■ 同期会、クラブOB・OG会、クラス会等情報をお寄せください  
今後の活動の参考にさせていただくとともに、次号の会報に掲載させていただきます。

■ 光楓会から各期会の支援について  
光楓会員が同期会を開催する場合に支援をしています。支援内容は主に宛名シールの打ち出し（名簿管理会社(株)サラトに依頼）ですが、開催準備や会場などお気軽にご相談下さい。なお、支援を受けた同期会は報告をお願いいたします。

支援をご希望される方は箕面高校内光楓会にお問合せください。（各役員宛もOKです）

## ? 住所不明者調査にご協力を！

平成25年10月に名簿第8号を発刊いたしました。その際かなりの調査を行いました。まだ約6,700名の住所不明者がおられます。友人・知人・先輩・後輩でこの会報が届いていない方は、住所不明者です。もしこの会報が届いていない同窓生がおられましたら、至急光楓会までご連絡下さい。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 連絡先

〒562-0004  
箕面市牧落4-8-66 箕面高等学校内 光楓会宛  
E-mail : office@kofukai.gr.jp

## 平成18年度から 名簿管理及び、光楓会報の 作成・発送を (株)サラトに委託しています。

第17号の会報誌より「A4サイズ／8ページ」となり、多くの情報を掲載することが可能となりました。母校の現状や光楓会活動の様子などを知って頂き、光楓会員相互の絆がより一層深まれば幸いと考えております。

### ！ ご注意下さい！！

◆同窓会の名前を用いて、新聞への広告依頼やさまざまな勧誘の電話があるようです。このような業者と同窓会は無関係であり、同窓会が正式に契約しているのは(株)サラトのみです。どうか、対応にご注意いただき、不審な電話にはきっぱりとお断りいただきますようお願い致します。

～光楓会事務局～

### 編集後記

箕面高校が50年。そうです、半世紀を過ぎ、光楓会も半世紀が過ぎようとしているのです。そのあとにできた府立高校の中には、統廃合の憂き目を見た学校もあります。反対に100年を祝う学校もあるのです。箕面高校が未永く歴史を重ねてくれることを願うばかりです。

さて、光楓会が50周年を迎えるにあたって会報特別号として、光楓会を支えていただいた先生方や歴代の役員の方々に原稿をお願いしました。時の流れと多くの想いを皆様にお届けできればと思います。会員の皆様のご協力に感謝いたします。